



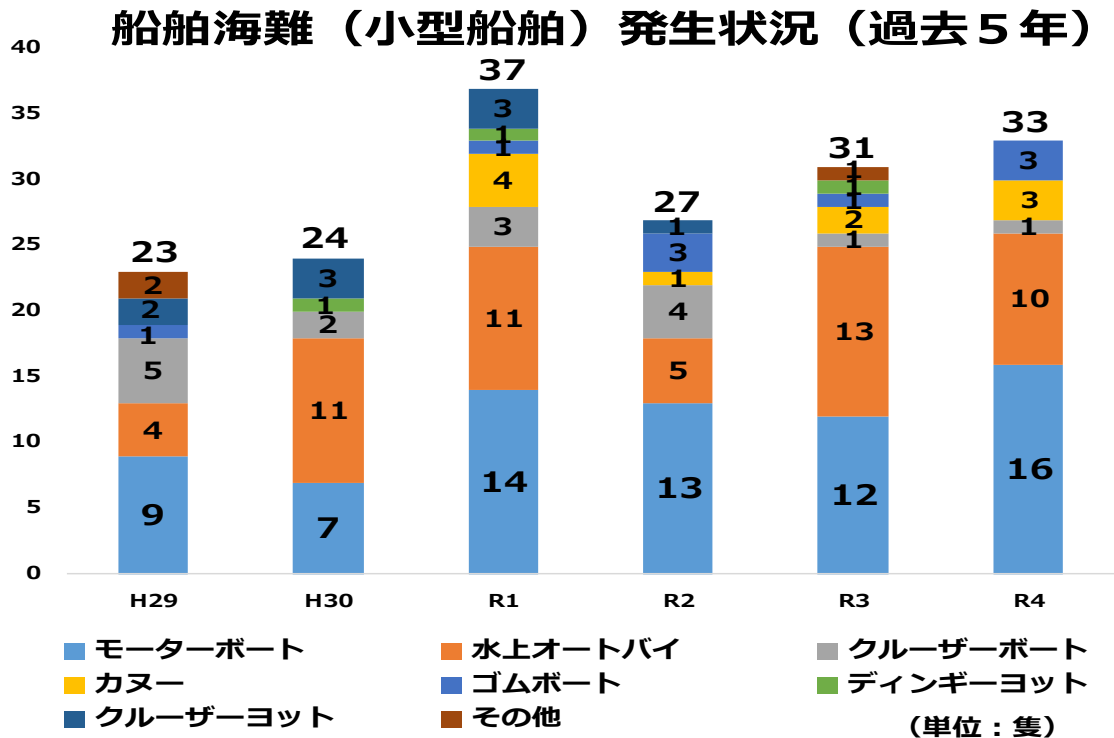
令和4年9月29日
第三管区海上保安本部
海の安全推進本部

夏の事故ゼロキャンペーン期間中の海難発生状況（速報値）

令和4年度海の安全運動「夏の事故ゼロキャンペーン」（7月16日（土）～8月31日（水））における、第三管区海上保安本部管内（茨城県から静岡県）の海難発生傾向をまとめました。

SUP 中の事故統計史上最多！！

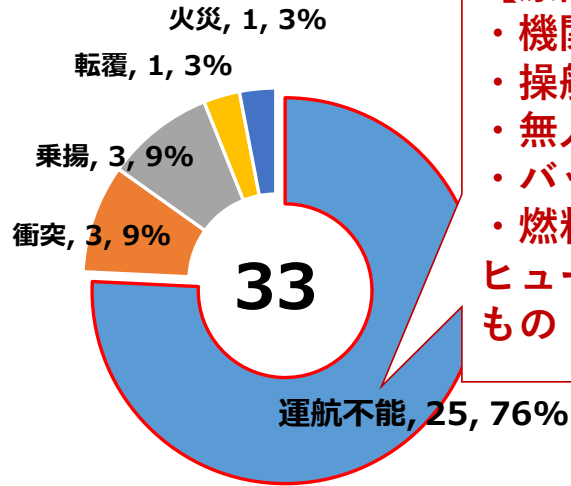
船舶海難（小型船舶）発生状況



- ・発生数は33隻、内モーターボートが16隻と4隻増加
- ・死亡・行方不明者は0人、6年連続死亡・行方不明者の発生なし

船舶海難種類別発生状況（令和4年）

船舶海難種類別発生状況 （令和4年）



【原因】

- ・ 機関故障
 - ・ 操船技能不足
 - ・ 無人漂流（係留不備）
 - ・ バッテリー充電不足
 - ・ 燃料欠乏
- ヒューマンエラーによるもの！

■ 運航不能 ■ 衝突 ■ 乗揚 ■ 転覆 ■ 火災
（単位：隻）

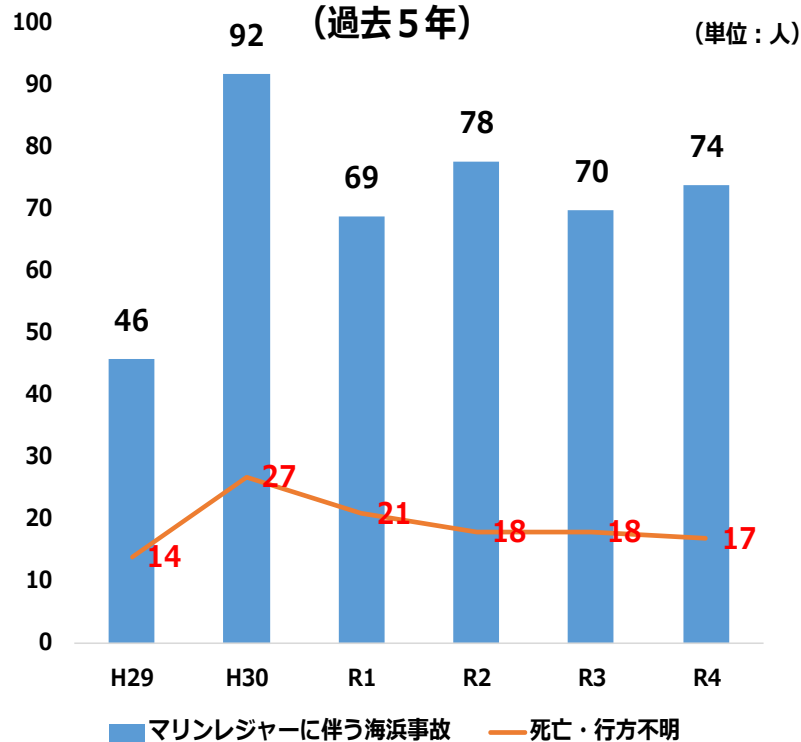
- ・ 海難種類別では運航不能が全体の約8割

事故事例 運航不能（機関故障）

発生日時：令和4年7月30日（土）
場所：東京湾内
事故船舶：プレジャーモーターボート1隻 総トン数1トン
事故概要：釣り中エンジンが停止し再起動しないため118番通報したもの
原因：燃料フィルターの目詰まりによりエンジンに燃料が供給されなかった

人身海難（マリレジャーに伴う海浜事故）発生状況

人身海難（マリレジャーに伴う海浜事故）発生状況

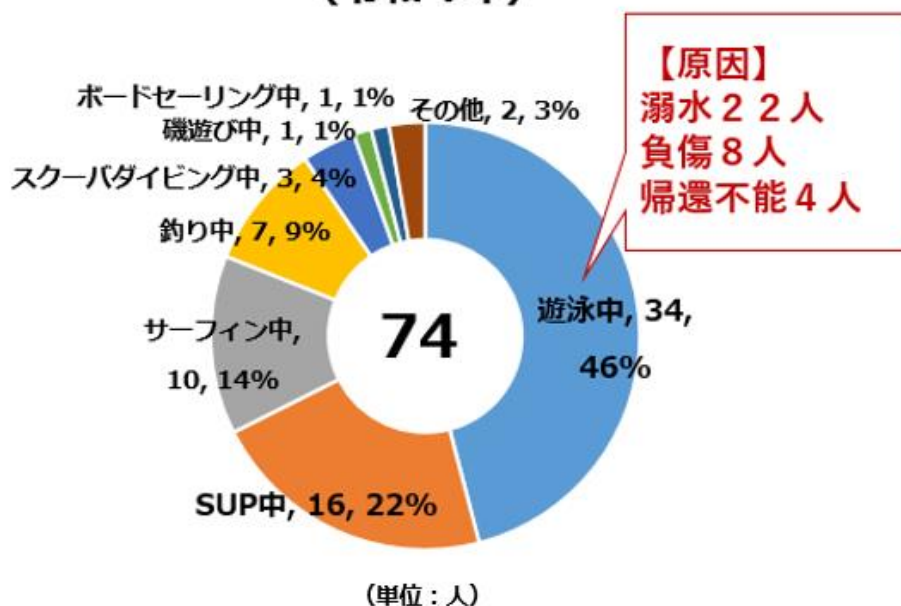


※「マリレジャー」とは、遊泳、釣り、潮干狩り、サーフィン、ボードセーリング、スクーバダイビング、バナナボード、ウェイクボード等の海洋における余暇活動をいいます。

- ・発生数は74人、死亡・行方不明者は17人

人身海難種類別発生状況（令和4年）

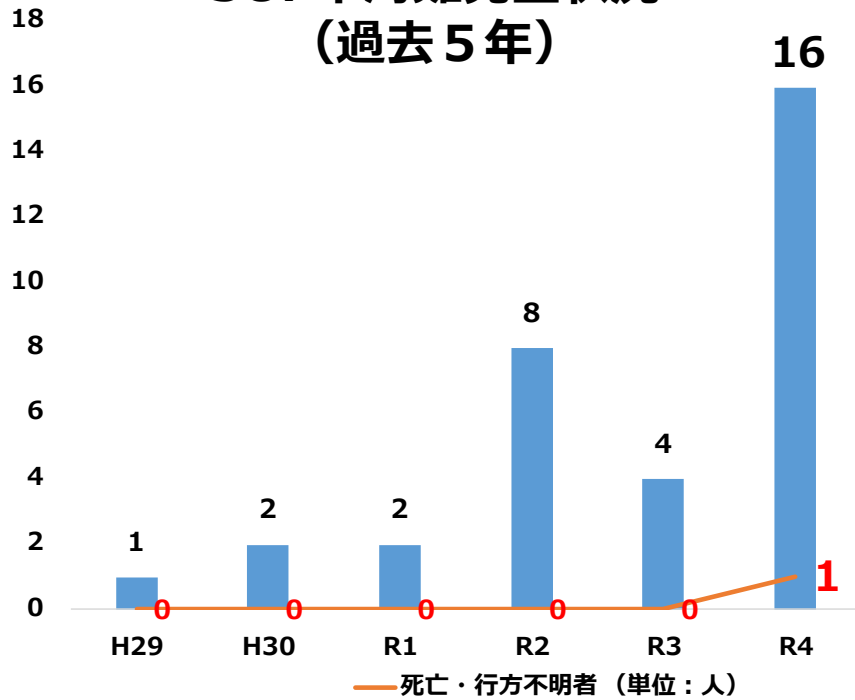
人身海難種類別発生状況 (令和4年)



- ・海難種類別では遊泳中が34人と昨年比7人減（遊泳中の死亡・行方不明者は12人）
- ・一方、SUP中が16人と昨年比12人増

SUP中の海難発生状況

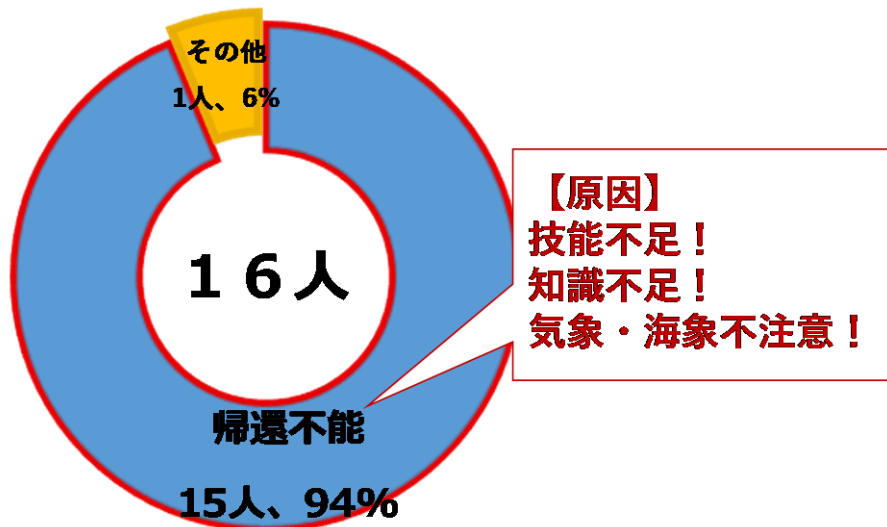
SUP中海難発生状況 (過去5年)



- ・ 発生数は16人、死亡・行方不明者は1人
- ・ 統計史上最多の発生者数

SUP中海難種類別発生状況

SUP中海難種類別発生状況 (令和4年)



- ・ 海難種類別では帰還不能が全体の9割
- ↳ 帰還不能の要因で一番多いのは、初心者による技能不足及び気象・海象の知識不足が要因と推察

期間中の活動内容



水上オートバイ

〈横須賀〉過去最大規模の官民連携合同パトロール



カメラ

〈清水〉警察・海上安全指導員との合同パトロール



プレジャーボート

〈船橋〉海上安全指導員とのパトロール



遊泳中

〈千葉〉若者への溺水事故防止啓発活動



釣り

〈田子の浦〉立入禁止区域から退去を促し安全啓発



サーフィン

〈千葉〉サーフショップ代表者へ安全啓発



SUP

〈湘南〉SUPショップ代表者へ安全啓発

■海の安全情報

海上保安庁では Web サイト上で、事故防止の注意事項や、気象海象の現況等の提供を行っております。「海の安全情報」で検索し、最新の情報をご確認下さい。



海の安全情報は**こちら**

■ウォーターセーフティガイド

カヌー、SUP（スタンドアップパドル）、ミニボート、水上オートバイや釣りなどのウォーターアクティビティについて、誰もが安全に安心して楽しむために知ってほしい情報をまとめた総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」が海上保安庁HPに開設されました。是非ご覧下さい。



ウォーターセーフティガイド
は**こちら**

■海しる

「海洋状況表示システム」（海しる）は、“海の今を知るために”さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせ表示できる情報サービスです。日本の周辺海域のみならず、衛星情報を含む広域の情報を掲載するとともに、気象・海象のようなリアルタイムの情報も掲載しています。



海しるは**こちら**